

今治市地方公会計制度に係る公会計システム構築業務プロポーザル評価基準書

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「今治市地方公会計制度に係る公会計システム構築業務委託仕様書」などの関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容やプレゼンテーション等での説明、質疑応答から各提案者の次の項目について、評価を行い受託候補者の順位付けを行う。

2 評価項目、評価の視点及び配点

評価は、100点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目		評価の着眼点	配点
(1) 業務遂行力	専門技術・実施体制	・専門的知識や業務実績を有する者が配置されているか	5
	同種同規模業務の実績	・他の地方公共団体、特に今治市と同規模以上（人口10万人以上）の自治体で複数の実績があるか	15
(2) 企画提案力	実施方針	仕様書の目的・条件に対する理解	10
		仕様書に掲げるシステム機能要件の実現性	10
		システムの機能性・操作性	15
		・その他機能において操作性や作業効率などを支援する機能を有しているか	
		既存財務会計システムとの連携体制	10
		新公会計システムへのデータ移行	5
		保守体制	5
	工程計画		5
(3) 取組姿勢	システム環境		5
	信頼性		5
(4) 見積金額		・提案によって想定される導入経費は、他の事業者と相対的に比較してどうか。	5
		・翌年度以降の運用保守経費は、他の事業者と相対的に比較してどうか。	5

### 3 評価

- (1) 評価項目(1)～(3)の評価の際には、下表の示す評価基準に基づきAからFまでの6段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	優れている	× 1
B	やや優れている	× 0.8
C	普通	× 0.6
D	やや劣っている	× 0.4
E	劣っている	× 0.2
F	要件を満たしていない。または示されていない。	× 0

- (2) 評価項目(4)の際には、提案者の見積価格に応じ下表のとおり評価点を算出する。  
令和3年度の導入経費の見積金額が募集要領「2 見積限度額」に定める見積限度額を超えている場合は、失格とする。

評価基準及び配点の倍率(小数点以下切り捨て)
評価点(5点) × 最低見積価格 / 提案者見積価格